

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学校名 越前町立 朝日小学校

体育の学習や活動を楽しみ、進んで運動に取り組もうとする児童の育成

<本校の体力向上の取組みについて>

- 令和6年度の体力テストの結果では、50m走が全国や福井県の平均値より低い結果となっていた。陸上運動では、3年生～6年生の児童が見つけた課題や、記録を載せた掲示物を作成する。その内容を、全体へ共有し、陸上運動への意欲を高めながら全国や福井県の平均値を越えるようにする。
- 年間を通して、体育の授業で時間走を定期的に行い、体力の向上を図る。
 - ・時間は各学年の発達段階に応じたものにする。
 - ・マラソン大会などの前は、強化期間として頻度を増やして行う。
- 「業間運動」では、体育委員会が内容を企画・運営し、体を動かす機会を確保する。
- 「体育的行事」(体育大会等)の見直しを行い、児童の意欲がより継続できるようにする。

<児童の運動習慣の育成について>

- 児童が「できた」「わかる」ということを実感させるために、児童の実態に応じた場づくりや教材・教具、学習カード、学習形態等の工夫・開発、ICT活用に努める。
- 委員会活動と連携し、運動習慣を育成させる取組みについて子どもたちが考えたことを積極的に取り組んでいく。
- 休み時間では、ボール遊び(ドッジボール、サッカー、キャッチボール等)や竹馬、一輪車、フラフープ、フリスビーなど、様々な遊びができる環境を設定する。
- はぴりゅうスポーツ広場を積極的に活用している児童を担任へ報告したり、体育の授業で共有したりする。

<その他>

- 休み時間では、鉄棒やなわとびのジャンピングボードを常時設置したり、竹馬や一輪車などを使えるようにしたりして、いつでも運動に取り組める環境を整備する。
- 体育授業の「リレー」や「器械運動」などでは、異学年交流を行い、教え合ったり、一緒に技術を高め合ったりして、楽しみながら学ぶ機会を設ける。
- マラソン大会や体育大会では、積極的に参観してもらえるようにするなど、魅力ある学校づくりを心がける。

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立糸生小学校

健康と体力の向上をめざし、チャレンジできる子

<本校の体力向上の取組みについて>

- ・晴天時の業間体育で5分間走を行い、個人や縦割り班ごとに目標をもたせ、持久力の向上を図る。
- ・冬季の業間体育でなわとびに取り組む。学校行事（なわとび大会）と関連させ、縦割り班ごとに、めあてを決め、目標に向かって協力しながら運動に取り組む楽しさが実感できるようにする。

<児童の運動習慣の育成について>

- ・雨天時の業間体育で音楽に合わせてダンスやストレッチに取り組み、楽しみながら柔軟性や巧緻性などの向上を図る。
- ・体育委員会が、全校で運動に慣れ親しむことができるような企画を実施する。異学年の交流をとおして、学校全体で楽しみながら運動技能や体力の向上を図っていく。
- ・タブレット等ICTの活用に積極的に取り組む。体育の活動で、教師だけでなく、児童もICTを活用し、自身や友達の動きを確認したり、比較したりできる利点を生かして、自身の改善点の把握や、技能の向上を視覚的に実感できるような授業づくりに取り組む。また、はぴりゅうスポーツ広場を活用して、業間体育や体育の活動の記録を行う。

<その他>

- ・体育授業担当者が授業内容の共有を行うことで、系統的・段階的に上の学年につながるような授業づくりを進め、確かな知識と技能の定着を図る。
- ・体育大会は、子どもたちが考えた競技を実施する。学校、家庭、地域が一体となって取り組み、運動する楽しさを共有できるようなものにする。
- ・外部団体を講師として招いての水泳教室など、専門的な知識や技能に触れることができる出前授業の機会を設定する。プロの実技や指導に触れることで、運動に対する興味や関心を高め、一緒に活動することで、知識と技能の習得につなげていく。
- ・担任と養護教諭が連携し、児童の実態に合わせた保健の学習指導を行う。
- ・体育的行事の前や長期休業期間に健康に関するチェックカレンダーに取り組む。各家庭で設定した「わが家のメディアルール」を守ることに力を入れていく。

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立宮崎小学校

健康な体づくりのために自分にできることを見つけ、進んで取り組む児童の育成

<本校の体力向上の取組みについて>

・ウォーミングアップの工夫

→準備運動では、各単元で取り組む運動の特性に合わせたコーディネーショントレーニングを取り入れる。また、昨年度の体力テストで課題となった「筋力」と「筋持久力」を向上させるための運動を継続的に行うことで、全学年の「筋力」、「筋持久力」が福井県や全国の平均値を超えることを目指していく。

・委員会活動の一環による業間運動

→1000m走タイムトライアル、なわとび大会の練習期間では、児童が委員会活動の一環として練習時間を企画・運営する。全校児童が自ら参加したくなるような内容を、委員会の児童が中心となって考える。

<児童の運動習慣の育成について>

・はぴりゅうスポーツ広場の活用

→体育授業では、体力テストや持久走などの記録入力や「個人タイム」と称し、選択して運動に取り組む機会を設ける。休み時間や家庭での使用も積極的に認め、児童一人一人に合った方法で取り組むことができるようにする。長期休業前には、全学年で「進んで取り組む課題」として周知する。

・体を動かす環境の整備

→本校の広い校舎やグラウンドを存分に生かし、児童が思い切り体を動かすことができる環境づくりに努める。それぞれの場所で使用できる用具(一輪車や竹馬、卓球台など)を提供し、日常的に運動に親しむことができるようにする。

<その他>

・年間3回の「ハッピー週間」

→学期に1回ずつ、健康な生活習慣の定着を目的とした「ハッピー週間」を実施する。早寝早起きなどの基本的な生活習慣に加え、デジタルシティズンシップ教育の一環である「メディアバランス」にも力を入れる。家庭への啓発や、計画段階からの協力を促すことで、児童の健康的な生活を目指し、学校と家庭が協力して取り組んでいく。

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立越前小学校

※今年度の重点内容・目標等について簡潔に記入してください

<本校の体力向上の取組みについて>

*統合されて本年度から開校した学校である。

- ・1回15分の業間体育を週2回設けている。春から秋のマラソン大会までは持久走、マラソン大会後から冬季にはなわとびを行う。がんばりカードを取り入れ、めあてをもって取り組めるよう指導法を工夫するなど、児童が意欲的に取り組めるようにする。
- ・今年度の体カテストの結果を踏まえ、来年度以降の取組みについて精査する。

<児童の運動習慣の育成について>

- ・体育の授業にめあてをもって取り組ませ、単元を通して自分自身の成長を感じることができるよう、がんばりカードを活用している。(マラソン大会において、なわとび、鉄棒、マット運動など)
- ・縦割り班を活用し、仲よし遊びを学期に1回程度設け、異学年による外遊び、室内遊びを行うことで、運動好きな児童の育成に取り組む。
- ・はぴりゅうスポーツ広場を活用し、様々な運動(遊び)に取り組める環境を整備する。

<その他>

- ・保健の学習では、養護教諭による生活習慣や歯科に関する指導などを学期ごとに実施する。
- ・小学校6年間を通じた体育での学習を記録できるように、各学年に卒業まで持ち上がる「体育個人ファイル」を導入し、振り返り等を保管できるようにしている。

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立織田小学校

伸ばそう!おたっ子の力

- ①体力 授業や業間運動で体力の向上を図る。
- ②心力 体育的行事を中心に、忍耐力や向上心を育む。
- ③協力 授業でお互いに支え合ったり、縦割り班で協力したりする中で助け合う力を養う。

<本校の体力向上の取組みについて>

- 業間運動の内容を見直し、児童が企画した内容を実施する。
本校児童の持久走への意欲が低いため、業間マラソンを廃止した。その代替りとして、体育委員会が企画した活動を実施し、体力の向上につなげていく。
- 授業で運動量を確保する。
授業時間を使って友達と関わるような活動を取り入れつつ、運動量の確保に努める。(鬼ごっこやリレー等)

<児童の運動習慣の育成について>

- 週2回の業間運動を行う。
5～10月には、体育委員会が企画した活動や、縦割り班ではびりゅうスポーツ広場を実施し、楽しみながら運動に親しめるようにする。11～3月には、なわとびを行う。2月に予定されているなわとび大会に向けて、短縄や大縄を使った8の字跳びをしながら体力向上につなげていく。また、どの児童も目標を設定し、それに向かって頑張る力を養う。
- OTAタイム(昼休み)の取組み
時期を設定して体育委員が企画し、全校での鬼ごっこやリレー、縦割り班対抗のドッジボール大会を実施する等、縦割り班のつながりを深めながら体力の向上を図る。

<その他>

- はびりゅうスポーツ広場の普及に努める。
休日でも、家族で運動に親しむことができるようにする。
- 体育大会での親子種目
低・中・高学年ごとに親子競技を実施する。競技内容を児童が考え、体育大会本番での競技準備も児童が行う。児童同士の協力や親子での協力が求められる活動とする。
- 衛生的な生活を指導する。
衛生面への配慮や病気予防のために、換気や手洗いの効果を示すとともに、手洗いやうがいの仕方の指導を徹底し病気の感染予防に努める。

令和7年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立萩野小学校

心と体の健康を意識して生活をする力の育成

<本校の体力向上の取組みについて>

- ・全校で体育ファイルを作成し、学習カードをつくり、自分の成長が見えるようにする。
- ・業間運動では、週2回マラソンや全校リレー、パワーアップ運動に取り組み、体力の維持・向上を図る。
- ・全校リレーでは縦割り班でチームを作り、リレーを行う。全学年で協力してゴールを目指したり、タイムを縮めるための作戦を考えたりすることで、体力向上と仲間意識の高まりを目指す。
- ・マラソンでは音楽を流すことにより、素早く行動したり意欲的に走ったりできるようにする。マラソンカードに走った分の色を塗ったり、はぴりゅうスポーツ広場に走った距離を入力したりして、今までの成果を実感し、これからの意欲が高まるようにする。
- ・業間運動時に雨天など外で活動できない時には、パワーアップ運動として、室内で柔軟やボール投げ等の苦手分野を改善する活動を行う。

<児童の運動習慣の育成について>

- ・体育の授業では領域や内容に応じて、めあてを全体に提示したり個人で考えさせたりし、その達成に向かって運動することで、意欲の向上を図り、達成感をもたせる。
- ・体育的行事では、スローガンや個人目標を設定して挑戦する機会を設定し、やり遂げる喜びを味わえるようにする。また、児童が主体となって取り組めたり、自主的に参加したりできるように工夫する。
- ・大休みや昼休みの自由な時間には、外や体育館を開放し、自由遊びを推奨する。
- ・はぴりゅうスポーツ広場を活用し、家庭でも運動時間が増えるよう声かけをする。

<その他>

- ・保健領域では適切な時期に授業を行う。授業後も食生活や睡眠時間、ゲーム時間などの生活習慣について考える機会を設け、心身ともに健康で安全な生活ができるよう支援する。(養護教諭との連携、委員会の発表等)
- ・体育的行事では、保護者や地域の方の応援や声かけが児童の励みになるよう、連携しながら取り組む。
- ・これらの活動を通して、「めあてをもって生活することができた」と答える児童が90%以上であることを目指す。